

## 令和3年第10回教育委員会定例会議事録

招集日時 令和3年10月26日（火曜日）午後2時開会／午後3時閉会

招集場所 加賀市民会館3階 15会議室

教育長 山田利明

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子

会議列席者 梶谷事務局長、公下次長兼学校指導課長、宮永次長兼教育庶務課長、上出生涯学習課長、池端中央図書館長、山下山中図書館長、左古教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長

令和3年第10回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 先月から1カ月振りの定例会ですが、先月から今月にかけては学校訪問や研究大会があって、しょっちゅう皆さんの顔を拝見させていただいたと振り返っております。

先々週の県教委連の発表を思い出すと、羽咋市のキャリア教育がありましたね。飛行機を貸し切って修学旅行をしたと。あれを新聞で見たんですが、今回発表を聞いて、本当に有意義なキャリア教育になっていたんだなと思いましたし、小松市もコロナ禍でいろいろなことをやっているということもお聞きできて、なかなか聞かないとわからないものだなと思いました。

昨日の加南地区教委連研究大会の能美市のコミュニティスクールですけど、加賀市もやらなくてはいけないと改めて思いましたし、牧田先生が生徒指導もみんな授業が中心なんだというお話をされて、私も非常に共感して聞けたかなと思っております。それを聞いて加賀市はどうだということですが、加賀市はプログラミング教育とか、歴史都市としてのふるさと学習とか、能楽などの伝統芸能、伝統工芸の勉強をしっかりと進めているのが特徴かなと思います。やはり他の市の発表を聞いて、うちも頑張らないといけないと改めて思いました。

そこであさって社会教育の全国大会が小松市であるということで、資料を見ると埼玉県や福井県の若狭など全国いろんなところの発表がありますので、それを聞いて大いに刺激を受けてほしいなと思っています。改めて加賀市の教育をしっかりと進めていかないといけないなと思います。どうぞよろしく願いいたします。

それでは議件に入ります。本日審議事項はありません。報告事項が7件であります。報告第53号、高校魅力化事業スタッフの配置について宮永次長お願いいたします。

● 報告第53号 高校魅力化事業スタッフの配置について

宮永次長 資料に基づき説明

○山田教育長 英語も上手なんですが、インドネシア語が喋れるということで、こういった素晴らしい方が加賀市へ来て働いてくださっているということです。この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第54号、令和3年度加賀市小中学校 勤務時間記録 集計結果（I期：4月～

6月、Ⅱ期：7月～9月)について公下次長お願いいたします。

- 報告第54号 令和3年度 加賀市小中学校 勤務時間記録 集計結果 (Ⅰ期：4月～6月、Ⅱ期：7月～9月) について

公下次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 このように表やグラフにして見て、要はそのあとどう分析をして、どう対策するかということであります。先般から申し上げているのは、時間というよりその内容をそれぞれ校長先生が把握して、それは致し方がないという部分とか、その業務を他に振ることができるとか、そういった分析を各学校でしっかりと進めていただくという施策をお願いできればと思います。今年度いっぱい見てみて、次年度に向けての分析というものをきちんと前に進めていただく、分析があればそのあとに指導があると思いますので、これは意見ですが、よろしくお願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 だんだんと減りつつあるというのは素晴らしいことだと思っております。一番大切なのは、やはり学校というところは行事が増えるばかりで減らすことがほとんどないので、そこは大胆に行事等の精選をして、保護者の理解を得て減らして行っていただきたい。例えば運動会にしても午前中で終わっているところもあるとお聞きしております。別に丸1日することもないだろうと私個人的には思っておりますけれども、いろんな保護者のご意見もあると思いますので、いわゆるコミュニティスクールみたいな地域との話し合いというか、地域の要望を取り上げていただきながら、かといって先生方の勤務が過多になってしまっているところ、不都合が起こってくるのは良くないので、それも踏まえて、まず学校のいわゆる常識みたいなこと、昨日の講演でもありましたように、毎日朝礼をしないと、そのようなことも福井の中学校では実際にやられているので、大変参考になると思います。そういうことも踏まえて各学校の校長先生方にもう一度お伝えしていただき、そしてできれば子ども達にできるだけ影響がないようなかたちで、先生方の勤務条件を緩和していただきたいと思っております。もちろん先ほど山下委員からご指摘があった単なる時間の多い少ないということよりも、内容の検討、これは大変必要なことです。100時間超えをしている方が実際にいらっしゃいますので、その方にはやはり個別に対応していただきたいです。100時間を超えることは日常の中でも心身の負担がものすごく大きくなるし、一番大切な授業が疎かになってくるひとつの要因でもあるんじゃないかと思っております。中学校では部活動が大きな課題になってくると思っておりますけれども、いろんなことを大胆に改革をして行っていただきたいと重ねてお願いをしたいと思います。意見でございます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第55号、「プログラミング工作コンクール」の表彰について公下次長お願いいたします。

- 報告第55号 「プログラミング工作コンクール」の表彰について

○山田教育長 第3回ということで、昨年に比べたら作品数も増えているし、部品なんかものづくりラボへ行って、パーツを3Dプリンターで作るといふ、そういうところからやっていると、年々素晴らしい作品が出てきているなと思いました。

これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○疎委員 プログラミングなんですけど、お父さんが好きな方もいらっしゃるし、どこでされているんですかね。教室が開かれたりしているんですか。

○山田教育長 公下次長、お願いします。

○公下次長 針谷君はクラブハウスに行ったり、お父さんと一緒に工夫をしながらやったりしていますし、学校では一緒に取り組む特別なものは設けていないと思うんですけども、例えば質問等があれば対応したり、やはりそういう点で、各自が自分でテーマを持ちながら、お家の方と相談をして取り組んだり、あとは学校で今までのプログラミングの勉強もありますので、それをうまく自分で活用している子もいると聞いています。

○山田教育長 3人ともものづくりラボへは必ず行っているそうです。そこでいろいろと助けてもらっていると思います。

○疎委員 そうすると自分で通える子もいるけど、お家の方が連れて行ってあげているんですね。

○山田教育長 そうですね。山中や勅使だったらちょっと自転車では遠いかなと思いますね。他、ございませんか。

○篠原委員 優秀賞の針谷さんの無線リモコンカーはイメージがつくんですけど、あとの2人の作品はどのようなものですか。

○山田教育長 優秀賞のリモコンカーは強く押すと早く進む、スイッチの押し具合をセンサーが感知する感圧センサーですごいなと思いました。基盤も3Dプリンターで自分でオリジナルのものを作ったということです。優良賞の「お手伝いロボット『太陽ちゃん』」はゴミを拾うロボットで、表彰式のときはちょっと動かなかったんですが、細かい飾りがたくさん付いていてかわいらしい作品でした。「白首万頭先生」はお化け屋敷に置いておいて、人が来るのを感知すると人形が回って驚かすというようなロボットでした。勅使小学校は学校で肝試しをして、そのときに活用したということです。

○篠原委員 ありがとうございます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第56号、令和3年度 加賀市グッドマナーキャンペーン 実施報告について上出課長お願いいたします。

- 報告第56号 令和3年度 加賀市グッドマナーキャンペーン 実施報告について  
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第57号、数理女子ワークショップ in 加賀の開催について上出課長お願いい

たします。

- 報告第57号 数理女子ワークショップ in 加賀の開催について  
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。  
2年前にさくらでやったものを今回オンラインでやったんですね。  
続きまして報告第58号、令和3年度 嶋田うれ葉 講演会について上出課長お願いいたします。

- 報告第58号 令和3年度 嶋田うれ葉 講演会について  
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。  
続きまして、報告第59号、「加賀温泉郷マラソン2022」の開催について田中課長お願いいたします。

- 報告第59号 「加賀温泉郷マラソン2022」の開催について  
田中課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 2点お聞きしたいと思います。1点目は、人数の大幅減についてでございます。申し込みについては先着順にするのか、それとも抽選にするのか。おそらく先着順だと早めに埋まってしまうと思いますので、他のマラソンのように抽選にするのかというのが1点目です。  
もうひとつ参加者について、PCR検査は直近であれば非常に有効ですが、ワクチン接種については、ファイザー、モデルナであれば少なくとも5%くらい抗体ができない方がいる、アストラゼネカについては30%程度抗体ができない方がいるということでございます。なのであまり有用ではないんじゃないかと思っておりますので、PCR検査をしてくださいと、もしくはそれを少し加賀市で誘導してPCR検査ができますよとされた方が、ワクチン接種は、95%効果があるということは5%は効果がないわけです。70%効果があるということは、30%効果がないわけです。それよりもPCR検査に統一して、ある程度期日を決めて各自で願いますか、予算に余裕があるのなら少し助成しますというかたちで、PCR検査での出場資格にした方がいいのではないかと、これは意見でございます。

○山田教育長 田中課長、お願いします。

○田中課長 まず定員の枠をこれまでよりも減らしていることについてですが、こちらについては先着順というかたちにさせていただきます。その理由としましては、抽選というかたちになりますと、あとで当選された方にこちらからご案内を送らないといけないということになりまして、その分の郵送料が発生してしまう関係で、どうしても予算の都合上、先着順というかたちにさせていただきます。申し込み期間が1月31日までになっているんですが、場合

によっては早く定員に達して申込期間が終了してしまう可能性もあると考えておりますが、早めに定員に達してくれたら私どもとしましては有難いと思っております。逆に1月30日になってもまだ埋まっていないという場合には、もっとお声がけをしないといけないと思っております。

そしてワクチン接種とPCR検査についてですが、私どもも専門的な知識等がない状況で、医師や保健師等の監修によってというかたちで、新型コロナウイルス感染症予防対策室というものを医療センターの医師、保健センターの保健師も含めて設置させていただいております。その方々のご意見等も踏まえて、ワクチン接種の方をまず優先するというかたちでご判断いただいたところであります。PCR検査もどうやって受けたらいいかわからない方もいらっしゃるかもしれませんので、今事務局としましては、そういった方々に例えば抗原定量検査等を簡単に受けられるような方法を事前にご案内できないかということも検討しているところであります。こちらにつきましてはまだ正式には決まっておりますが、何かそういった方法を提案できる場合には、大会ホームページ等でご案内をさせていただきたいと思っております。4月の初めくらいに参加者ランナーの方にはまたご案内を送るんですが、その中でもそういったことをご紹介させていただきたいと思っております。

○山下委員 先着順の申し込みということですが、オンライン開催の状況を見ても1日で全部埋まってしまった状況で、今回フルマラソンは3,000人という定員ですけれども、今までできなかったフルマラソンができるようになったと、大変多くの方が申し込みをされると思います。人数を増やすとか抽選にするとか、おそらく1、2日で定員に達してしまうであろうと思っておりますので、その辺をもう一度ご検討いただければと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

以上で報告事項は終わります。続いてその他に入りたいと思います。この際ですから何かございますでしょうか。

○篠原委員 新型コロナウイルスの蔓延防止期間が終了して、昨日は石川県は0人ということで安心しておりますが、それに伴って市内の展覧施設が元のように戻ったと思います。そこでお聞きしたいのは図書館のことです。今は新型コロナウイルスの関係で、図書館の開館時間が10時で、終了時間も早くなっていると思いますけれども、それを今後、元に戻すということをお考えではないのかということ。すべてを開放してクラスターが発生してしまうと大変危険なので、無理にそういうことを望んでいるわけではないんですけど、一部の市民の声の中には、できるだけ元のかたちに戻してもらえると有難いという声も伺っております。そのことについてどうお考えなのか、あるいは今後どういうかたちでやっていかれるのか。市のコロナ対策委員会での決定に従うのが一番いいと思いますけれども、そういうことも踏まえて、加賀市の市民が利用される施設についての開館時間等、コロナ禍における制限撤廃についてお聞きしたいと思っております。

○山田教育長 池端館長、お願いします。

○池端館長 ただ今のお話につきまして、蔓延防止が解除される前に話し合いをしまして、今のまま継続というかたちになっているんですけども、その大きな理由としまして、中央図書館を利用される方が平日でだいたい200人から300人、休日で500人以上になるときもあるんですが、そうすると館内の消毒や本の消毒、本については返却された本全冊で、館内につきまし

ても、朝に消毒作業を館内全体でやっておりますし、日中も午後2時に消毒作業をしております。そういった消毒作業を朝とかお昼にやっておりますと、ちょっと手が足りないということもありまして、通常通りの開館に戻すということが今のところ、消毒の関係上難しいということで短縮をさせていただいております。あと、時間を戻してまた次に第6波がきたときに、また短縮すると、時間の変更というのはホームページ等ですだけになってしまい、なかなか周知されず、お客様に混乱を招くということもありますので、今のところ様子見ということで、開館時間は両図書館とも10時から6時ということでさせていただいております。

○山田教育長 スポーツ施設はいかがですか。

○田中課長 スポーツ施設に関しては、かなり以前から普通の状態に戻っております。コロナ対策を徹底して運営しており、利用状況は通常の状態となっております。

○篠原委員 市民の方々はスポーツ施設の状況をご存知だと思えます。なぜスポーツ施設が元に戻っていて、図書館はまだ戻らないのかと思うと思えますけれども、今の実情をお聞きしましたら、きちんとした消毒対策をとっておられて、そのために人手が足りないということなので、やむを得ないかなと思っておりますけれども、できるだけ利用者の不便にならないように、加賀市としても図書館の利用時間を長くしていたという経緯もございますから、イートインスペースや子ども達の学習スペースも今ストップしてはいますが、できるだけ少しでもいいので緩和をしていただければと思います。特に今子ども達が学習するスペースがほとんどないですし、今から受験の時期に入りますので、そういうことも今後ご配慮いただければと思います。よろしく願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 今回資料をいただいて申し上げなければと思っていたのが、以前から申し上げております委員会のペーパーレス化です。そしてさらに思っていたのは、毎回学校訪問に行きますと、分厚い資料をいただきます。あちらもほぼ見ないと言ったら失礼ですが、ポイントだけしか見ないもので、そういったものについてもデータ化できるのではないのかと。昨日の講演会を受けてこれは確信に変わりましたので、ぜひ次年度の予算を組んでいただいて、少なくとも加賀市の教育委員会はペーパーレスにしましたよと。それから学校訪問についても、事前資料についてはいいですが、学校の様子のもについてはデータ化しますと。紙資料を作る作業とそれをPDFにして送る作業とどちらが楽かという、次年度以降また使おうと思うと、あの資料を1からまた作るのではないですよ。ほぼほぼそれを利用して作っているはずですよ。ですから今、スタートは非常に重い球を転がすのは大変なんですけど、転がってしまうとあとあと非常に便利ではないかなと思っております。次年度予算が今からどんどん組まれていくと思いますが、それに向けて教育委員会定例会もペーパーレス化を図っていただきたいと思います。利点は何かという、いただいた資料がどうしても山になってくるし、簡単に捨てられるものでもないと思えますので、ぜひそれを具現的に進めていただければという提案であります。特に計画訪問の学校資料について、厚い資料を我々1冊ずついただきますけれども、いくつかチラチラと見て人数はこうなんだとか、通学区域はこうなんだとは見えますが、ほぼほぼ見ない資料なんですね。ただデータでいただければ、何かあったときに確認をさせていただくことができるわけがござります。その辺含めて庶務課の方で前向きにぜひご検討をいただきたいと思いますというのが意見でござります。

- 篠原委員　私も基本的には賛成です。加賀市は先導的にスマートシティということを行っていますので、ぜひ前向きに進めた方がいいのではないかなと思います。
- 山下委員　今すでに橋立の方をお願いしているのは、毎月、学校で広報を作られています。毎月毎月校長先生やいろんな先生が家まで持ってこられたので、大変ですからデータでくださいという話をして、今データでいただいています。データでいただいた方がこちらも確認しやすいですし、そういったことも含めて全体でペーパーレス化をしていこうという方向を加賀市教育委員会が率先して進めていただければなと思います。
- 山田教育長　貴重なご意見ありがとうございました。
- 宮永次長　資料等のデータ化はいつもPDFの方でお渡ししているので、あとはタブレットがご用意できればというところで検討したいと思います。委員の皆様にご案内するときもデータというかたちで考えたいと思います。
- 山下委員　各学校の資料もデータでいただいた方がいいのかなというのもお願いをしたいと思います。
- 宮永次長　個人アドレスとかではなくてということで、アドレスをとって、学校の方に公の委員さんのアドレスというかたちでいければ、学校さんの方からもいろいろな情報をメールとかデータでご案内もできると思いますので。
- 山下委員　ドメインがあるわけですから、委員のアカウントがあればいいわけなので、ぜひ検討を進めていただきたいと思います。
- 山田教育長　棟委員いかがですか。
- 棟委員　そういう方向でしたらやってみよう。
- 山田教育長　佐野委員いかがですか。
- 佐野委員　ペーパーレス化は助かりますね。
- 篠原委員　アカウントをとっていただくだけなので、あとは端末の予算がどれだけとれるかということだけなので前向きに考えていただけたらと思います。
- 別の件でよろしいでしょうか。県の教育目標が出ていますよね。それに伴って市の教育目標を策定しなければいけない時期に入ってきていると思うんです。昨年度も実施していませんけれども、市長さんを交えた総合教育会議もしなければならぬ時期だと思います。市長さんと教育会議をするときには教育目標を策定した上での話し合いになってくる、あるいはそれだけでなく年に一度くらいは市長さんを交えた教育会議をしないと、やはりせっかくそういう制度があるのでやっていくべきでないかなと考えておりますが、いかがですか。
- 山下委員　市長さんも任期が新しくなりましたので、それを踏まえて、大変お忙しい中ではありますけれども、少し時間をとっていただけるようなことがあればいいかなと思います。
- 山田教育長　大綱を定めて、総合教育会議を開くということですね。
- 宮永次長　年度当初、私が4月に着任したときの引継ぎでも計画をしっかりとしてということで、ちょっと進捗が遅れておりますけれども、これは年度内に対応させていただきたいと考えております。
- 山田教育長　ずっと止まっていたわけではなくて、進めてはいるんですが、外部の方との協議もあるため少しゆっくり進んでいる状況ですね。
- 篠原委員　教育大綱の策定委員会があるじゃないですか。それは策定委員さんの選考も終わ

られて、会議もやられているんですか。

○宮永次長 大綱の方は市長部局がということで、市の方でというかたちにはなるんですが、基本的には教育委員会の委員の皆さんのご意見を踏まえながらということと、加賀市ならではのものをというところで、素案を策定した上でお諮りしたいと思っております。教育振興基本計画の方はこれまでのものを見ましても、策定に向けた組織、委員さんとか学校関係者の方、教育関係者の方、あとは専門有識者の方ということで組織をしてお諮りいただきながら策定していくかたちになるかと思えます。その辺は大綱をもとに、もう少しその中でのしっかりとした目標であったり施策であったり事業であったりを枝分けして、あと県に準じて行われたことをそれとして、加賀市ならではの特化したようなものを拾い上げて、新しい基本計画を策定すると。これも少し遅れているんですが、年度内に取りまとめということになるかと思えます。

○篠原委員 確認なんですけど、基本計画の策定委員会というのも今年度中に何とかしてしまいたいということですか。策定もしてしまいたいということですか。

○宮永次長 そうですね。

○篠原委員 県から1年遅れとよく言われますよね。国からは2年遅れになりますけれども、国がやって県がやって市なので、そうやっていただければいいと思います。確か何期とあって、見直しの時期がありましたよね。教育委員会だけではなくて市全体、福祉とかいろんなところが見直しをしていますけれども、その計画自体を今年度中に何とかしてしまいたいということでもよろしいですか。

○宮永次長 そうです。

○篠原委員 ありがとうございます。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 見直しの時期がきているはずで、膨大な量で見るのが大変なんですけど、できれば資料作成のときに、新旧対照表でお示しいただければ有難いです。

○宮永次長 以前の定例会でもご指摘いただいたと思うんですが、今の基本計画に対しての評価をしっかりとした上で新しいものご提案するというか、提示するというかたちをとらせていただきたいと思えます。新旧の対照に加えて、旧の成果というものも分析した上で、お示しできればと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは次回教育委員会定例会日程について宮永次長お願いいたします。

● 次回教育委員会定例会日程について

宮永次長 説明

○山田教育長 11月30日火曜日、午前10時からということで予定に入れておいてください。この際ですから委員の皆さんから何かございますか。よろしいですか。それでは以上で第10回教育委員会定例会を閉会いたします。御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。